

## 2 「おやこ一冊読書」の概要

### 「おやこ一冊読書」とは

一冊の本を親と子が一緒に読み味わう読書の方法です。

「おやこ」には、兄弟姉妹、祖父母と孫、先生と生徒、地域の大人と子ども、友達同士なども含まれます。

#### (1) 「おやこ一冊読書」のよさ

ア 親子の絆が深まります。

- 喜びや悲しみの共有
- 互いの温もりを実感
- 物語に登場する人の生き方や考え方の交流
- 交流を通しての相互理解

イ 一冊の本をじっくりと読む習慣が身に付きます。

読書というと、何冊読んだかといった冊数ばかりに着目しがちですが、一冊の本をじっくりと繰り返し読むということもまた大切です。

#### (2) 「おやこ一冊読書」の取り組み方

ア 読み聞かせ等、家族と一緒に20分程度、本を楽しみましょう。

イ 親が、子どもの頃に読んだ思い出の本を薦めてみましょう。

ウ 子どもが読んでおもしろかったという本を、親も読んでみましょう。

エ 誕生日等に、本をプレゼントしてみましょう。

## 3 「宝本」の概要

### 「宝本」とは

「1日20分読書」を通じて出会う「本」のことです。

「宝本」は人との絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊です。

※ 「1日20分読書」とは、全ての子どもが1日に少なくとも合計で20分程度の時間、読書に親しみましょうという取組です。

#### (1) 「宝本」の広がり

ア おやこ一冊読書による、おやこのふれあいの中で生まれます。

- 親子で読んで、楽しいひとときを過ごせたら……
- 親子で感じたことを語り合えたら……
- 子どもが繰り返し読んでほしいと言ったら……

イ 楽しみながら読み、感動することで生まれます。

- 主人公になりきって、夢中で読める本に出会えたら……
- 心をゆさぶられる本に出会えたら……
- びっくりするような新しい知識に出会えたら……

ウ じっくりと読み、自分を見つめることで生まれます

- 自分の生き方を見つめることができたなら……
- ものの見方、感じ方や考え方を深め、豊かにすることができたなら……
- 自分の将来に夢や希望を持つことができたなら……